

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立山口小学校	岡本晶彦
学校所在地		
〒 649 - 6311 和歌山県和歌山市里146 tel 073 - (461) - 1062 fax 073 - (461) - 1044		
担当者名		役職名・担当教科
山口 俊 ・ 坂本則子		教諭・5年担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、山口村にあった紀州徳川藩の山口御殿跡に、明治6年に開校した。そのため、当校には、山口御殿に係る文化財を一部保存している。和歌山市の中心部から約12kmの位置にあり、岩出市と大阪府阪南市と接している。そのような立地条件もあり、地区の総面積の約60%が山林で占められている。近年は宅地造成が進み、児童数も増加してきている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5年生 48名	職員 3名	高野山会館、一の橋、奥の院、弘法大師御廟
実践研究テーマ		
世界遺産を知ると共に、主体的に学ぶ心を育てる。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べよう。	
〔キーワード〕 世界遺産学習 情報活用能力		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産について知る。 和歌山県世界遺産センターの入門講座を受講したり、実際に熊野古道を歩いたりすることで、自分たちが住んでいる地域に世界遺産があることを実感する。 世界遺産の大切さを知り、守っていこうとする心情を育てる。 		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 10 時間 （「 世界遺産について調べよう・まとめよう」 5 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	和歌山県の世界遺産を調べてみよう。 【調べ学習】 興味のある世界遺産を調べ、個々にまとめよう。	これまでの経験から、世界遺産について知っていることを出し合うようにする。 インターネット資料を活用しながら、多くの情報を収集する。	思考・判断 (ワークシート) 技能・表現 (ワークシート)
2	和歌山県の世界遺産を知ろう。 「紀伊山地の霊場と参詣道」 世界遺産センターの方の講義を聞く。	世界遺産センターの方に来ていただき、世界遺産について学習する。	関心・意欲・態度 (ワークシート)
3・4	世界遺産を歩いてみよう。 【フィールドワーク】 奥の院	世界遺産センターのガイド案内員とともに実際に奥の院を歩き、自然や文化財に触れる。	関心・意欲・態度
5	体験したことをまとめよう。 聞いたこと、体験したことを基に学習の振り返りをする。	写真、資料、ワークシートを基に学習を振り返る。 フィールドワークで得た知識も活用させる	思考・判断 技能・表現 (振り返りシート)
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果</p> <p>同じ和歌山県の紀北筋に住んでいても、場所や名前を知っているが高野山の辺りに行くことは初めての子もおり、実際に世界遺産と触れる貴重な機会になった。高野山奥の院を歩くことにより、たくさんの昔の有名な人たちのお墓や参詣道に立ってある樹齢何百年の木など、自分たちの住んでいる和歌山県にとっても貴重なものがあるということを再認識できた。また、フィールドワークで詳細な説明を受けることができ、世界遺産への関心を高めることができた。</p> <p>課題</p> <p>今回は、高野山での現地学習であったが、山口小学校付近にも熊野古道がある。だから、校区探検や地域の詳しい方や世界遺産センターの関係者の方に実際に案内や紹介をしてもらい、子どもたちに熊野古道という歴史的価値の高いものが地域にもあるとさらに感じてもらうことができ、より主体的な学習態度を望めたのではないかと感じた。 折角、世界遺産を学習・体験することができたのでより自分の住む地域への興味関心を高められればと感じた。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>フィールドワーク等を通して、実際に、古の人々の思いなど、さまざまなことに触れることができた。世界遺産についての知識や、世界遺産が登録されるまで、された後のことについて多くのことを学ぶことができた。また、一度登録されても、大切にしていかなないと登録を外されてしまうことがあるという話から、世界遺産を守っていくことの大切さを学んだように感じた。そして、フィールドワークを通して、その場の雰囲気やにおいを感じたり、歴史的産物をみたり、多くのことを体験することができた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>未来を担う子どもたちに、これから世界遺産を保護し、受け継ぐ精神を培うためには、学校内における調べ学習だけに留まらず、フィールドワーク等の体験活動に参加できる機会を増やしていくことが大切であると考えます。</p> <p>今回は高野山でフィールドサーチを行ったが、他にも本宮や那智勝浦など和歌山県には多くの世界遺産がある。そういったものと実際に触れ合うには移動時間などの障壁があり、実現するのが難しいのがとても残念に感じた。</p>			



高野山で学んだこと

高野山でいろいろなことを学びました。学んだことで一番「そうなんだ。」と思ったことは二つあります。

一つ目は、エジプトにあるナイル川のことです。たくさん雨がふったとき、あふれてこう水になったりするので、みんなでダムをつくるのがすごいと思いました。

二つ目は、地球上に広がる世界遺産です。まず、ヨーロッパが一番遺産が多いと教えてもらったけど、どうしてヨーロッパに集まっているのか不思議でした。

次に、世界遺産マスターさんがBグループの私たちを案内してくれました。マスターさんが木の名前を教えてくださいました。

一つ目の橋をわたっていくと、おはかがずっと続いているのでびっくりしました。

マスターさんに、門に入る前はこの世、門を入るとあの世なんだよと教えてもらい、入ってみて、あの世とこの世の空気が少しちがったのが不思議でした。不思議だと思っただけで、ほとんど同じ場所なのに空気が少しちがったから不思議だと思いました。

私は高野山に行って色々なことを学べたのでよかったです。

色々知った高野山

わたしは高野山に行ったことがあります。でも今回行って、高野山のすてきなところ、世界遺産についてたくさん知れました。そのたくさん知ったことを言います。

最初に世界遺産について知ったことを言います。まず一つ目はたくさんさんの世界遺産のいくつかを知りました。エジプトのピラミッドやギリシャのメテオラなどその他色々な世界遺産を知りました。

次に二つ目は、世界遺産は三種類に分けられることが分かりました。文化遺産は人が関わっていること、自然遺産は地球・自然が関わったもので、文化遺産が八百六十九件で自然遺産は二百十三件で、複合遺産は三十九件ということが分かりました。他にも危機遺産というものがあって五十三件あることが分かりました。

最後に三つ目は登録を取り消された遺産のことです。取り消された遺産は、二件あって、一つはドレスデン・エルベけい谷というドイツにある文化遺産です。二つ目はアラビアオリックスというオマーンに多くいる動物の住みである場所の自然遺産です。他にも日本の世界遺産は二十三件ということなど色々なことを知りました。

次に現地学習のことです。現地学習で一番思ったことは、一つ目の橋をわたると、とてもいい空気になったことです。教えてもらった木の名前は、高野まつとすぎです。たくさんお墓があつてびっくりしました。

高野山に行つて一番大切だと思ったことは、世界遺産は大切に守っていかないとイケないと思いました。

